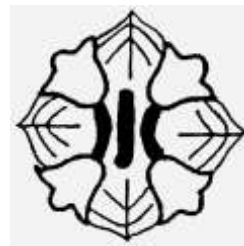


別海町立上風連小学校 学校だより

# 上風連の子



No.3 平成26年5月26日(月) 発行責任者 校長 菊地 祐一

学校ブログのアドレス <http://www.aurens.or.jp/kids/>

## 「やる気を育む四つの態度」

上風連小学校長 菊地 祐一

1学期も早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。来週には運動会（6月7日）があります。この間、子供たちは学習生活両面で確実に成長し、今は運動会に向けて新たな目標を立てて頑張っているところです。

もちろん学校にも「目標」があります。大きな目標としては『強いからだ・優しい心・考える頭きまりよいくらし』。校訓といわれているものです。これらを実現するために更に具体化された教育目標や学校課題があります。今年の本校の学校課題は「人とかかわりを大切に、豊かな感性を身につける子どもの育成」です。これに少しでも近づけるよう、学力・心・体（知徳体）の成長をバランス良く育むために、様々な教育活動を展開しています。

さて、下記に書いてあるのは、ある民間会社に勤める20代～30代の若者に、子ども時代を振り返ってもらい、やる気の出た親の態度や言葉で、特に印象に残るものを聞いたものです。



### 【叱られたが励ましてくれた】

《人として恥ずべき行いはよく叱られたが、希望や夢を抱かせてくれた》

### 【厳しいが温かい】

《しつけとして、「盗まない、いじめない」を徹底し、安全や安心を満たしてくれた》

### 【必要なものは与えられたが多くは耐えさせられた】

《今本当に必要なものは何かを考えさせられた》

### 【口うるさく言われたが、よく聞いてくれた】

《母親は口うるさいものだが、何でも笑い飛ばしながら聞いてくれた》



こんな基本的な四つの態度がやる気を育んだと答えています。学校でも愛情ある接し方を通して、子供たちが自分の目標を達成できるよう、この四つを一つ一つ大切にしていきたいと思います。家庭でも子供たちのやる気を育むための参考にしてみて下さい。